

2025 年 10 月 7 日

Press Release

報道関係・教育担当記者 各位

南山学会主催
2025 年度南山学会シンポジウム

「人新世」の社会科学
—人類と地球の共生を目指して—

開催のお知らせ

平素は、本学の広報活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこのたび、本学における研究活動の促進を目的とする南山学会では、『人新世』の社会科学—人類と地球の共生を目指して—と題し、2025 年度南山学会シンポジウムを下記のとおり開催する運びとなりました。つきましては、取材、報道等におきましてお取り扱いいただき、広く一般に周知いただければ幸いです。

なお、恐れ入りますが、取材につきましては、事前に南山学会事務局（本学研究推進課）まで、ご連絡をお願いいたします。

記

テーマ：「人新世」の社会科学 —人類と地球の共生を目指して—

日時：2025 年 11 月 5 日（水） 15：00～17：30

開催形式：対面形式（S 棟 S21 教室）

司会：南山大学 外国語学部 教授 平田 周

報告者および報告タイトル：

(1) 放送大学 教養学部 准教授 桑田 学 氏

「エコノミーの脱自然化／再自然化 ——思想史の視点から」

(2) 創価大学 法学部 教授 前田 幸男 氏

「惑星政治学から考える暴力とパワー ——大地に根差すものへの生成変化」

(3) 南山大学 国際教養学部 准教授 籠橋 一輝

「自然の〈かけがえのなさ〉をどう考えるか」

趣 旨 : 2000 年代頃から人間の活動が地球の生態系に不可逆的な影響を及ぼした時代を指す言葉として「人新世」という言葉が用いられてきました。2024 年 3 月、国際地質学連合の下部組織において、この名称を新たな地質年代とする提案は否決されましたが、人間の活動が原因となって加えられた生態系の変化という事実が否定されたわけではありません。現在、人新世は、その言葉が生まれた地質学をはじめとする自然科学の領域だけでなく、地球温暖化やそれがもたらす生物多様性に対する脅威について考えるにあたって、広く人文・社会科学における研究トピックとなっています。今回のシンポジウムでは、近年、このテーマについて具体的な研究成果を出されている経済学 [経済思想]、政治学 [国際関係論]、環境経済学の領域から 3 名の研究者をお迎えし、本学の人文・社会科学における地球環境をめぐる争点について理解を深めることを狙いとします。

そ の 他 : 参加費無料（事前申込制）

以下フォームより事前にお申し込みください。 ※申込期限 : 2025 年 10 月 24 日(金)

<https://app.nanzan.ac.jp/regform/regist/univ/kenkyu/2025nanzangakkai>

以 上

2025年度南山学会シンポジウム

「人新世」の社会科学 —人類と地球の共生を目指して—

参加費
無料

日時: 2025年11月5日(水) 15:00-17:30

会場: 南山大学 S棟 S21教室

◆報告Ⅰ 15:10~15:40

「エコノミーの脱自然化／再自然化
—思想史の視点から」

放送大学 教養学部 准教授 桑田 学 氏

◆報告Ⅱ 15:40~16:10

「惑星政治学から考える暴力とパワー
—大地に根差すものへの生成変化」

創価大学 法学部 教授 前田 幸男 氏

◆報告Ⅲ 16:20~16:50

「自然の〈かけがえのなさ〉をどう考えるか」

南山大学 国際教養学部
准教授 籠橋 一輝 氏

◆ラウンドテーブル 16:50~17:20

◆司会
南山大学 外国語学部
教授 平田 周 氏

参加を希望される方は、

10月24日(金)までにQRコード(右側)よりお申込みください。

※南山大学の教職員および学生の方はPORTAアンケートよりお申込みください。



お問い合わせ先

南山学会事務局(南山大学研究推進課)
E-mail: kenkyu-support@nanzan-u.ac.jp
TEL: (052) 832-3686

共催

名古屋大学大学院人文学研究科附属
人文知共創センター

